

診療科	リハビリテーション科
研究課題名	大腿骨近位部骨折術後の理学療法レジストリー(JPTHDR)構築に関する研究
倫理審査承認番号	2024-06
実施責任者	理学療法士 木勢 峰之
共同研究施設	聖路加国際病院 リハビリテーション科 真下 翔太
研究目的・方法	太ももの骨である大腿骨（脚の付け根側）の骨折は、生命予後や日常生活動作に大きく影響を及ぼすとされ、寝たきりや要介護状態に陥る原因の1つとされています。骨折後の要介護状態と再転倒を回避するために、術後のリハビリテーションが重要であり、その経過や効果を評価していくことが必要だと考えています。しかし、その全国規模の全容を捉えられるデータベースがまだありません。全国の理学療法士が情報を共有できるシステムを作り上げることは、有効なリハビリテーションや評価を科学的に確立するために大変有用です。日本運動器理学療法学会が作成した大規模データベースに参加、協力し、リハビリテーション医療の発展に寄与したいと考えています。
対象となる患者さん	2025年2月1日～2027年3月31日の間に秀和総合病院リハビリテーション科において、大腿骨近位部骨折術後の理学療法を受けられた18歳以上の方を対象とします。
対象期間	2025年2月1日 ～ 2027年3月31日
利用する情報など	個人を特定されないように処理した上で付与したID、性別、受傷時年齢、身長、体重、受傷前住居、受傷前歩行能力、受傷側、骨折型、術式、手術待機日数、転帰先、既往歴、認知機能障害、リハビリテーション介入状況、移動自立度、歩行能力、運動機能評価、など。患者さん個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名化された状態でデータベースへ提出されます。
個人情報の取扱い	保存された情報等は他の医学研究への利用を目的に提供されることがあります。その際には提供の可否について日本運動器理学療法学会理事会、本研究事務局の意見を聞き、適切と判断された場合に限り提供します。提供されるデータは、データベースに登録・保管されている情報で、研究に参加して下さった患者さんの個人を特定できる情報は含まれていません。
お問い合わせ先	【実施責任者】 秀和総合病院 リハビリテーション科 理学療法士 木勢 峰之 〒344-0035 埼玉県春日部市谷原新田1200 電話：048-737-2121（代）

以上